

(別紙2-1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25年 10月 1日

【事業所概要 (事業所記入)】

事業所番号	4270103411		
法人名	社会福祉法人 春秋会		
事業所名	リエゾン長崎 グループホームくぬぎ (椽)		
所在地	長崎県長崎市江川町92番		
自己評価作成日	平成25年10月1日	評価結果市町受理日	平成25年11月28日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

【評価機関概要 (評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本評価支援機構
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島2丁目7217 島原商工会議所1階
訪問調査日	平成 25年 11月 2日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

高齢になっても介護が必要になってもその人らしく生活出来るよう、母体事業所であるケアハウスに併設した施設として平成15年4月に開設しました。  
「ゆっくり、いっしょに、たのしく」を理念のもと一人ひとりのペースを大事にして、その日、その時の思いや訴えをしっかりと受け止め、その人の安心した生活を支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点 (評価機関記入)】

当該ホームの理事長は、介護予防事業「地域の遊び場フェスタ」として開催6年目を迎えられている。地域の活性につなげてモデルチェンジを行い、高島地区で開催されている。情報収集した内容を発信して高齢者の運動機能向上や住民の協力関係に繋げて貢献されている。理事長の姿勢を受けて、外部研修は積極的に参加すると共に法人内の研修や内部研修の年間計画の見直しを図り、かかりつけ薬局に講師を依頼して、薬の内容を学ぶ等、職員が同じレベルで利用者本位のケアができる様に職員の意識を高めて更なる研鑽に努められている。また、家族の安心に繋がる様にお便りの発信 (写真添付の葉書) や訪問の促し等家族との関係構築にも尽力されている。今後も利用者本位のケアの向上に期待したい。

## 1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「ゆっくり、いっしょに、たのしく」の理念を共有し、馴染みの関係が出来るよう日々取り組んでいます。	新人職員には特に理念をしっかりと理解して、利用者のペースに合わせた自立に向けての支援をできる様に指導されている。待つ事のむずかしさを感じながらも理念にそった支援を心掛けられている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣への買い物、行事等に参加しています。又ボランティア来訪して交流を図っています。民生委員の来訪もあります。	近隣のパン屋に買い物に行ったり、車椅子でも外出し、知人と挨拶をする等馴染みの関係が得られている。中学生の職場体験の受け入れとボランティアや民生委員の訪問で利用者も交流を喜ばれている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げていく認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ご家族様等に認知症についてご理解をして頂けるように努めています。又法人で、遊び場フェスタを開催し情報を発信し、地域福祉活動等を行っています。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催し、ご家族様や民生員、地域包括センター等の意見交換、交流を図っています。参加できないご家族様には議事録を送付しています。	会議は、支所の保健師・消防署職員の参加で防火等についての参考意見を得られている。全家族に会議の議事録を手渡されている。今後は参加のない家族にも順次参加して頂ける様に検討されている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	相談員の受け入れ、地域包括、市町担当者への運営推進会議への参加協力をお願いしています。分からない事は市に問い合わせしています。	理事長の尽力の下、市・地域包括支援センターとの協力関係が保たれている。会議の席で相談があれば事前に相談内容を記録しておく事を心がけ、緊急性のある内容は電話にて連絡をされている。	

6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は職員全員理解するよう話し合い、言葉かけや行動を制限する対応になっていないかなど常に取り組んでいます。	身体拘束のないケアの実践に努めて、入院時の家族の付き添いや転倒防止のセンサーの設置又、畳敷きへの改善等十分な説明をして家族の理解と協力をえられている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止マニュアルに基き、勉強会や新聞やニュース等に関するものがあれば随時話し合い、自覚のない虐待についても知識を深め、常に意識してケアを行うようにに努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	学ぶ機会はまだ少ないが、職員全員相談に応じ支援できるように努め、必要な時には対応していきたいと思えます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時にご本人様、ご家族様より希望を伺います。事業所として援助できる内容を十分に説明し、理解・納得していただいた上で契約を締結しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご本人様・ご家族様に面会時等に相談・意見・要望など伺い職員間で検討し、日々のケア向上に努めています。	家族に参加して頂き、食事会の折に利用者の日頃の状況をビデオで見て頂いていたが、今年度はまだ実施できていない。職員の意見を寄せて、新たにホーム独自のお便りを作成して、家族の理解と協力関係の構築に努力されている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のミーティングや全体会議にて意見や提案ができるようにしています。又全体会議での運営に関する方針をその都度説明し、情報の共有を図っています。	職員の離職はなく、良好なチームワークにより業務担当が円滑に取り組まれている。朝の申し送りや伝達も確実性がえられ、職員の連携と研修の学びによるケアのレベルの向上にも反映できている。	

12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>法人内外の研修に参加してもらうことで、向上心を持って働くことが出来るよう、職場環境・条件の整備に努めています。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部・内部研修は職員に受講希望を募り、調整を行い協力しています。又他の職員へも報告しています。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>代表者声掛けにて合同勉強会開催など取り組んでいます。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居時には生活状況の把握に努め、出来る限りご本人様のお話を伺い、より多くの情報を把握し理解するように努力しています。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご本人様のいない所でお話を伺うようにし、ご家族様の不安・要望に沿えるように努力しています。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人様、ご家族様のお話を伺い、他のサービスも必要であれば、そのように対応できるように努めています。</p>		

18	○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様と職員がお互いに協力し合いながら日常生活を送っています。		
19	○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様への毎月のおたよりにてご本人様の状況をお渡ししています。又来訪時も状態を説明し体調が良い時は散歩や外出、外泊ができるように支援しています。		
20	8 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会や電話連絡を希望された時は、希望に沿うように支援しています。又馴染みの方が気軽に来て頂けるように努めています。	馴染みの祭りの見物や近隣の商店街へ買い物に出かけ交流をえられている。家族との関係継続に配慮して、訪問した家族との写真撮影で、話題性を家族に絞り、訪問を喜んで頂く様に尽力されている。	
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お互いの個性を尊重しながら、座席の工夫を行っています。又、屋内外での行事を企画し、コミュニケーションが円滑に出来るようさりげないケアに努めています。		
22	○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後ご家族様からの相談があった時はその都度相談していただけるように対応している事をお話しています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人様に伺っています。ご本人様が言葉で言えない時には仕草や日頃の会話の中からご本人様の思いを探り支援するよう努めています。	日常の関わりの中で利用者の思いの聞き取りに努めて、外食が好きな方は家族の協力をえている。馴染みの場所へのドライブや自分で買い物する事で満足度と自信に繋がる支援を心がけられている。	

24	<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>生活暦はご本人様に尋ねる事はもちろんの事、入居時にはご家族様にも情報を頂いております。情報は日々のケアに役立てています。</p>		
25	<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>現状を良く観察し、毎日の記録に残しています。一人ひとりの暮らし方や生活リズムを理解すると共に、心理面やご本人様のできる力・分かる力の把握に努めています。</p>		
26	<p>10 ○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ご本人様、ご家族様、職員で話し合う機会を持ち、課題やケアのあり方について検討し、結果を説明しています。</p>	<p>利用者1名に担当職員が作成して、職員の意見を集約の上完成されている。月に2回又は3回、計画を実践できているか確認をして月末には評価をする事で次の作成に繋がられている。</p>	
27	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別記録は細かく記載しています。その時の状況で対応の仕方が異なりますが、情報を共有し日々のケアに役立てています。</p>		
28	<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>出来る範囲で本人様やご家族様の希望をかなえたいと取り組んでいます。</p>		
29	<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>入居者様が安心して地域で暮らしを続けられるよう防火・災害訓練を行い、安全に暮らせるよう支援しています。</p>		

30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人様やご家族様の希望により、それぞれかかりつけ医が違います。主治医には日々の情報を提供し良い関係が保てるように努めています。又かかりつけの薬局とも情報共有に努めています。	利用者の三分の二が訪問歯科の利用で指導のもと、現状を維持しながら自立に向けた歯磨きの習慣に繋がっている。受診の際は家族も同席の上、理解して頂ける様に医療との連携を大切にされている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	かかりつけの看護師へ日常のささいな変化、気づきを気軽に相談する事ができます。アドバイスを頂いたりしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には当施設での情報をお渡し、退院となればすぐに対応できるように病院関係者より情報を頂き、退院後必要なことは指導して頂いています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りは行っていないので、医療行為が継続して必要になれば退居して頂く事になっています。入居時には十分に説明しています。状況に応じ対応できるように取り組んでいます。	利用者の終末期においては、家族に見守られて過ごされるのが大切との思いながら家族と話し合いながら限界まで対応されている。職員は急変時の対応・緊急時の搬送のマニュアルを共有されている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署の協力を得てAEDの使用や勉強会等にていろんな状態を想定し訓練しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	毎月災害や火災通報・避難訓練を行っています。入居者様の身体状況、夜間など避難方法も異なりますので、その都度いろんな場合を設定しています。	法人全体の訓練の実施と利用者緊急持ち出しリストの管理や火元のチェック等実践されている。家族が訪問時に避難誘導場所を説明して、備蓄もチェックされている。	今後も、あらゆる災害に備えてのチェック体制の強化と地域との参加協力体制の構築を期待したい。

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日頃より十分に各人を尊重して言葉かけや対応をさせて頂いています。  新人職員も共に、職員が身体介護等の関わり方を同じレベルで取り組める様に年間計画の内部研修内容の見直しを図り、毎月実施して再確認に繋がられている。利用者の自尊心を大切に言動に留意されている。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	待つケア・さりげないケアを心がけご本人様が自己決定できるよう支援しています。
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の基本的な流れがありますが、ご本人様の状態、ペースを見ながら支援しています。
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人様の希望を伺い支援できる範囲でお手伝いしています。又理美容スタッフにご本人様要望等お知らせしています。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一緒にお手伝いを出来る方には、下ごしらえなどをして頂いたり、下膳や茶碗拭きなどをして頂いています。好きな食べ物を聞くなどして献立を作る際の参考にしています。  近隣の商店から食材を配達購入して利用者に季節の旬を味わって頂ける様に配慮され、健康保持に努めて栄養面や形態食と味付けも工夫して、食事の提供に努められている。職員1名が検食をして、利用者の食事介助をしながら職員も一緒に食事をする様に心掛けられている。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご本人様の状態に合わせてそれぞれ違った支援、認知症や身体機能の低下に伴い食べる事や飲む事が難しい方にも工夫しながら支援しています。
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後歯磨きをして頂いています。歯科衛生士より指導を受け、自力で行う方も声かけし口腔ケアが出来たか、不十分な所はないか、必要に応じ職員が仕上げ磨きをしています。
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	尿意などの意思表示が困難な方は排泄パターンや行動の変化の把握に努め、トイレでの排泄自立ができるように支援しています。  利用者の排泄状況を把握して、声かけや聞き取りで体調管理に努められている。利用者の状況に応じて布パンツ・シート等で対応して、少しでも自立歩行の支援で手引き誘導を促されている。



44	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、      飲食物の工夫や運動への働きかけ等、      個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>毎日排泄チェックを行っています。便が長く出ていない方には日頃より多く水分を取って頂けるように配慮し、又処方されている内服薬での調整、無理のない程度の運動をして頂いています。</p>		
45	<p>17 ○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>体調や希望に合わせて入浴出来るように支援しています。毎日入浴希望の方は毎日入って頂けます。</p>	<p>利用者は、一日おきに午後からの入浴で寛ぎ清潔保持も保たれている。失禁時は周囲の利用者に配慮して、速やかに対応すると共に皮膚湿疹のケアにも留意されている。</p>	
46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々      の状況に応じて、休息したり、安心して      気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>安眠や休息を気持ちよく出来るように環境を整えています。入居者様によってはなかなか寝付けない方が居られますが、その場合は日中の活動などを工夫したり、主治医に相談したりしています。</p>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的      や副作用、用法や用量について理解し      ており、服薬の支援と症状の変化の確      認に努めている</p>	<p>お薬については主治医や薬剤師からの説明があるので理解しています。状況に変化があれば記録に残し、主治医に報告、相談しています。薬が変わった時は申し送りで伝達し変化がないか観察に努めています。</p>		

48	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	今できる事や好まれる事を把握し、自分の役割をもつていただいたり、生き生きとした生活が送れるよう、楽しみごと、気晴らしの支援を行っています。		
49	18 ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	出来るだけ散歩や買い物等の外出できるよう支援しています。ご本人様のその日の精神面や身体面を考慮して出掛けるようにしています。又ご家族様との外出がスムーズに行えるように支援しています。	利用者2名に対して職員2名で外出支援を心がけ安全に配慮されている。地域の祭りの見物や車椅子利用の方も気兼ねない買い物で散歩を兼ねて外出をされ、調査訪問時には家族と外食に出かけられている。	
50	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人様がお金の所持を希望され、ご家族様の協力を頂いている方、又管理できない方は事務所に預かっています。外出時に買い物ができるように支援しています。		
51	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様より連絡希望ある時は電話でお話ができるように支援しています。手紙の送付や必要な時には代読して支援しています。		
52	19 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間に毎月その月にちなんだカレンダーを入居者様と一緒に協力しながら作成しています。ゆっくりとした時間が流れるように、心穏やかになる様なBGMを流しています。	階段の壁に手作りの作品を掲示したり、懐かしい筆筒や観葉植物・生花を配置して、季節感を味わいソファで寛ぐことができる様に和やかな雰囲気作りに努められている。	
53	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファや椅子を配置し、好きな所に座り、気の合う方同士、個人でも過ごせるように工夫しています。		

54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで生活されていた使い慣れた馴染みの持ち物を持参して頂いています。必要な物がある時はご家族様に協力して頂いています。	利用者の個性も感じられる落ち着いた雰囲気や家族の協力の下、テレビや筆筒・テーブル等馴染みの品物が備えられている。家族の訪問時や昼食後にお部屋で寛ぐことができる様に配慮されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来るだけ待つケア・さりげないケアを心がけています。心配り・心配りを十分に行う必要な所での支援に努めています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない